

高等学校 令和5年度 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： ( 1～8 組： 藤森 )

使用教科書： ( 家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍) )

教科 家庭 の目標： 実践的・体験的な学習活動を通して、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 家庭基礎 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
<p>【家庭科の学び方】</p> <p>【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</li> <li>自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭科の学び方</li> <li>生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>【生涯を見通す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立した生活を営むために、生涯発達の見点からライフステージの特徴と課題を理解する。</li> <li>生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生を展望する</li> <li>目標を持って生きる</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>1 学期</p> <p>【人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。</li> <li>よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。</li> <li>社会制度としての家族や家族と法律を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生をつくる</li> <li>家族・家庭を見つめる</li> <li>これからの家庭生活と社会</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>【子どもと共に育つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。</li> <li>子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの育つ力を知る</li> <li>子どもと関わる</li> <li>これからの保育環境</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。</li> <li>親の役割と保育について理解している。</li> <li>子供を取り巻く社会環境について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供の健やかな発達のために地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

	<p>超高齢社会を共に生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。</li> <li>・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。</li> <li>・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢・大衆長寿社会の到来</li> <li>・高齢者の心身の特徴</li> <li>・これからの超高齢社会</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。</li> <li>・高齢期の心身の特徴について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
2 学 期	<p>食生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</li> <li>・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</li> <li>・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。</li> <li>・配膳やマナーに関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の課題について考える</li> <li>・食事と栄養・食品</li> <li>・食生活の選択と安全</li> <li>・調理の基礎</li> <li>・これからの食生活</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の栄養的特質について理解している。</li> <li>・食品の調理上の性質について理解している。</li> <li>・健康や環境に配慮した食生活について理解している。</li> <li>・食品衛生について理解している。</li> <li>・おいしさの構成要素について理解している。</li> <li>・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	16
	<p>住生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。</li> <li>・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活の変遷と住居の機能</li> <li>・安全で快適な住生活の計画</li> <li>・これからの住生活</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。</li> <li>・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。</li> <li>・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
2 学 期	<p>衣生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。</li> <li>・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。</li> <li>・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の役割を考える</li> <li>・被服を入手する</li> <li>・被服を管理する</li> <li>・これからの衣生活</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。</li> <li>・被服材料について理解している。</li> <li>・被服構成について理解している。</li> <li>・被服衛生について理解している。</li> <li>・被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるように、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14

定期考査			○	○		1
<p>3 学 期</p> <p>経済生活を営む ・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて、どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。</p>	<p>・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す</p>	<p>【知識・技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 ・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。 ・生活における経済と社会との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>				5
<p>これからの生活を創造する ・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする。</p>	<p>・生活をデザインする</p>	<p>【知識・技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>				<p>1</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>70</p>